

広域多摩地域における社会実装教育拠点プロジェクト

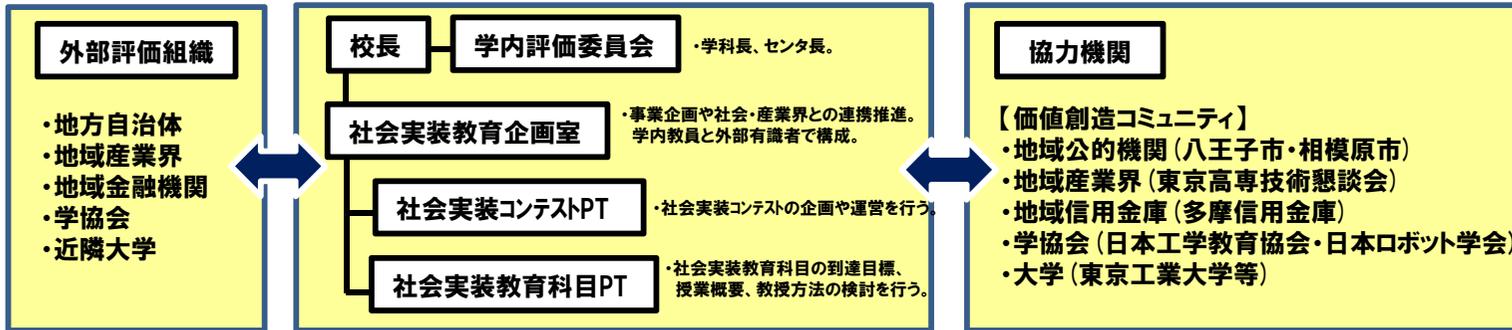
取組の目的・内容

事業目的 **社会実装教育**は、高専教育全体の課題「地域貢献」及び「実践的・創造的な技術者教育」に対し、東京高専が提案する具体的解決策である。本事業では、社会実装教育をステップアップさせ、地域の新産業等に資するイノベーション人材を輩出する一般化・体系化された教育モデルの確立を目的とする。これにより高専教育全体の強みをさらに強化・発展させる。分野拡大や学生の汎用能力向上のため、これまで以上に社会実装教育モデルを体系化して、広く他高専へも普及・展開する。

取組内容 新産業を牽引し得るイノベーション人材育成を通じて**地域貢献**するため、1) 学内事業では、高専教育改革の具体策としてモデルコアカリキュラム思想を先取りした全学カリキュラム改革を実施する。具体的には、これまでの5年間の実績を踏まえ、**社会実装教育**をさらにステップアップさせて学年進行で全学科のカリキュラムに導入し、質保証も実現する。また、2) 学外事業では、社会実装活動をOJTと位置づけ、イノベーション人材に必要な学生の「自ら考えて行動する力」、「社会とつながる力」等の汎用能力をさらに強化できるようにするため、社会実装プロセス全体を評価する社会実装コンテストを深化させ、社会実装教育ステップアップを図る。

実施体制・工程表

実施体制



社会実装教育事例：視覚障がい者導きシステム

準天頂衛星「みちびき」と点字ブロックに敷設されたRFIDタグによる位置測位 → 視覚障がい者の位置を**正確**に特定！

安全

UHF帯RFIDタグ

RFIDタグ読み取りアンテナ

「みちびき」受信モジュール

盲学校・鉄道会社と連携し、駅前にRFIDタグ付き点字ブロックを設置して実証実験。

工程表

事業計画・方法	H29年度		H30年度	
	事業運営	学内事業 (社会実装教育のカリキュラム化)	学外事業 (社会実装教育のさらなる一般化・体系化)	
H24～H28年度“イノベーション・ジャパン”プロジェクト外	社会実装教育・新産学連携組織の立上げ	社会実装教育の教科書・教員FD準備 社会実装教育による汎用能力成長評価	社会実装教育とその教育実験の場としての社会実装課コンテストの実施と課題探求 社会実装コンテストのステップアップ・分野拡大準備	広域多摩地域の社会実装教育拠点立上げ・運営 社会実装教育の教科書編集・教員FD実施 社会実装教育による汎用能力成長強化 地域の産業に関する社会実装コンテストの実施と深化 (分野拡大・学外フィールド拡大) 社会実装コンテストの学習成果の可視化

H30年度以降の中期計画以降の中期計画

【成果指標】

- 1) 社会実装教育の対象分野数(2年間で3学科→5学科に拡大を目標)
- 2) 社会実装教育の学外フィールド数(2年間で5分野→7分野に拡大を目標)
- 3) 社会実装教育のカリキュラム化(2年間で教科書編集、成長評価手法構築、教員FD実践)



【第4期中期目標期間への展開(見込み)】

第4期中期目標期間では、本事業の成果を踏まえ、本格的に地域貢献や新産業牽引に資するイノベーション人材育成し、地域産業界に輩出する機能を強化する(下記3項目)

- 1) 社会実装コンテストの一般化・体系化を深化させ、対象分野拡大、学外フィールド拡大
- 2) 社会実装教育のカリキュラム化(一般化・体系化のため、教科書編纂、成長評価手法構築、教員FD実施)
- 3) 国立高専機構モデルコアカリキュラムにおける一つの理想的なエンジニアリング・デザイン教育モデルの提案、広く他高専へ展開